

大河ドラマのこれまでの誘致活動と今後の活動方針について

福井県大河ドラマ誘致推進協議会

I 福井県大河ドラマ誘致推進協議会の設立

- ・ 設 立 趣 旨：本県の歴史上の人物を主人公に、本県を舞台としたNHK大河ドラマを実現することを目的に、関係者が一堂に会し、要望活動をはじめ機運醸成や情報発信、受入体制の整備など誘致活動を推進
- ・ 設 立 年 月 日：平成27年11月13日
- ・ 構 成 メ ン バ ー：県、県議会大河ドラマ誘致議員連盟、県内17市町、観光団体等、商工団体等 全68団体
- ・ 当 面 の 方 針：幕末明治150年となる平成30年に、由利公正を中心に幕末明治の福井を舞台としたドラマを誘致
- ・ 総 会、企 画 推 進 委 員 会：〔総会〕平成27年11月13日、平成28年4月25日
〔企画推進委員会〕平成27年12月、平成28年5月、平成28年10月

II 主な活動実績

1 NHKに対する要望等

NHKの会長や役員等に対して要望を行うとともに、様々な関係者に対して情報提供を行いNHKへの働きかけを要請した。

○NHKの榑井会長をはじめ役員等に対して知事等が要望（計4回）

〔知事、福井市長、あわら市長、観光連盟会長、経団連理事、福井コンベンションビューロー理事長、福井JC理事長 他〕

○NHK制作局長や福井放送局長等に対し、県内外の様々な団体が要望

〔東京福井県人会、青色21ネットワーク研究会、県織物工業組合、県連合婦人会、県左官工業組合、日赤福井県支部、県酪農農業協同組合連合会、県内の旅行事業者〕

○NHK役員や幹部、ドラマ番組部、NHK関連会社等に対し、情報収集や資料提供、要望活動を継続的に実施

○大河ドラマ誘致推進協議会の顧問（県選出国會議員、県政策アドバイザー）やアドバイザー（大河ドラマ時代考証家や歴史家、作家等）等へ継続的に情報提供し、活動に関する助言を得るとともに、NHKへの働きかけを要請

2 県内での機運醸成活動等

大河ドラマの誘致や由利公正をはじめとする福井の先人に関する講演会・イベント等を開催したほか、由利を紹介する冊子や映像によるPR等を行い、県民の機運醸成、知名度向上を図った。

○講演会・イベントの開催等

- ・幕末明治の先人に関するシンポジウムや講演会、テーマ展、パネル展等を開催
- ・県文化施設（県立図書館やこども歴史文化館、歴史博物館等）で福井の幕末明治や由利公正をテーマとした展示を実施
- ・由利公正をわかりやすく紹介するDVDを制作（平成28年7月）し、公共文化施設や全小中学校等に配布
- ・ふくい春まつりの越前時代行列に、由利公正役を含めた「福井幕末維新隊」を編成（平成28年4月）したほか、県左官工業組合と共働で「三岡へっつい」を再現（平成28年2月）
- ・市町など構成団体においても、講演会や展示会、巡回パネル展、出前講座、ゆかりの地を巡るツアー等を開催

○エピソード等の発信

- ・県内の偉人にまつわるエピソードや幕末明治の史実、エピソードを「福井の幕末明治 歴史秘話」として発行（創刊号～第20号〔平成28年1月～〕）

○その他の活動

- ・県内イベントで、県と市町が共働でパンフレットやチラシ（約8万部）を配布
- ・主要公共施設、駅、旅館・ホテル等でのぼり旗を設置
- ・県内金融機関の約320の本支店でポスターを掲出
- ・県や市町等の広報誌、広報番組によるPR
- ・幸橋付近で「毛矢の繰舟」を実施（平成28年4月～10月）
- ・PRグッズ（缶バッジ、ティッシュ等）の作成、バスのラッピング広告等の実施

3 県外での知名度向上活動等

NHKに対して、関連番組の制作や放送を働きかけるとともに、首都圏等において、関係自治体や民間企業、大学等の協力を得て、PR活動を実施した。

○ドラマ関連番組放送や雑誌等への記事掲載の働きかけ

- ・テレビ、ラジオ番組制作者への働きかけ
- ・歴史家や作家等への働きかけ

○講演会・イベント等の開催

- ・NHKふれあいホールで「幕末明治先人の軌跡展」を開催（平成28年3月）
- ・東京都庁展望室や江戸東京博物館、東京都公文書館、中央区エントランス等で展示会を開催
- ・大手都市銀行、保険会社、航空会社など企業との共働で、パネル展等を実施

- ・明治大学で福井の幕末明治期をテーマに講演会等を開催（平成 27 年 11 月）
- ・高知県、熊本県、山口県、長崎県、鹿児島県と共動で、東京のアンテナショップで連携イベントを展開（平成 28 年 2 月～3 月、7 月～8 月）

○その他の活動

- ・首都圏等での誘客宣伝活動において由利公正等の P R も実施

Ⅲ 成果

1 番組や雑誌等での紹介

- ・テレビ、ラジオ、新聞等で由利が題材として取り上げられたほか、雑誌や業界誌等にも歴史家の寄稿や特集が掲載され、県内外での知名度が向上した。

NHK Eテレ「先人たちの底力 知恵泉」

「先人たちの底力 知恵泉『みんなの心をつかむ突破力 由利公正』」

〔 全国放送（2回）：平成 28 年 2 月 9 日、2 月 16 日 〕
〔 県内放送（2回）：平成 28 年 5 月 2 日、5 月 29 日 〕

NHK ラジオ第一「すっぴん」（平成 28 年 7 月 20 日）

雑誌「ビッグトゥモロウ（平成 28 年 3 月号）」、「味の手帖（平成 28 年 5 月号）」 等
歴史漫画「由利公正」（平成 27 年 11 月）、「橋本左内」（平成 28 年 11 月）の発刊

2 県民の関心の高まりや県内外での知名度の向上

- ・市町や経済団体、女性団体などが由利に関する研修会を開催するなど、活動が広がり、県民がふるさとの先人の生き方などを学ぶきっかけになった。
- ・県内企業・団体等がホームページでの情報発信や歴史ツアーを行ったほか、小中学校での学習や大学生によるイベント等が行われるなど、関心が高まった。
- ・福井市内の中学校では、生徒たちによる、由利公正を題材とした壁新聞の作成や誘致に向けた署名活動が行われた。
- ・大手都市銀行、保険会社等による東京等での自主的な P R 活動が広がり、由利の知名度向上につながった。

3 NHK や時代考証家、歴史家等からの情報

○由利公正等に対する評価

- ・由利公正は主人公候補として有力。由利の人生はわかりやすく、他の人物との関わりも多いことも良い。
- ・当時の福井藩が倒幕派でも佐幕派でもない、独自の中庸路線を歩んだことは、大河ドラマの題材として高く評価できる。
- ・福井には幕末明治に活躍した数多くの先人がおり、話の広がり期待できる。

等

○主人公選定等における視点

- ・大河ドラマの主人公には、少なくとも、①50回分のエピソード、②主人公が我々に訴えかけるメッセージ性、テーマ性、③全国的な知名度、④国内複数か所での活躍、の4つの条件を満たすことが必要
- ・主人公は、功績のみではなく、その人物の喜怒哀楽、恋愛についても描くことが必要。視聴者は、波乱万丈の人生や人間らしさに興味を持つ。
- ・史実を追いかけるだけでなく、視聴者にどう感動を与えるかの観点に立ち、例えば、家族愛や友人との絆、ライバルといった主人公を取り巻く人間関係等も必要
- ・著名人であっても新たな角度で描くことや、新たな視点で魅力を掘り起こすことが必要
- ・視聴率を高めるためには、視聴者目線、特に女性の支持が重要 等

○誘致活動

- ・誘致活動は5年、10年という期間がかかるものであり、継続することが重要
- ・大河ドラマは誘致活動のみで決定するものではないが、提供される詳細な資料は、題材を選定する上で貴重
- ・産業や教育、福祉など様々な分野で、日本の近代化に福井が果たした貢献をもっと打ち出すべき
- ・主人公のみだけでなく、周辺に魅力ある人物が数多く存在していたことをアピールし、ドラマの厚みが出せることを強くPRすると良い。
- ・地元の歴史を知ることによって郷土愛が高まる。そのためには、人物から知ってもらうことが効果的 等

IV 課題

1 NHKに対する情報提供について

- ・史実・エピソード等の更なる掘り起こしや史料の分析を進め、厚みを持たせることが必要
- ・数多くの情報を、具体的に、かつ、わかりやすくNHKに情報提供していくことが重要

2 県内での活動について

- ・主人公の知名度や関心をさらに高めるとともに、その生き方や考え方などについて県民の理解を深めることが重要
- ・地域において主人公への関心や活動に温度差があるため、県内全体で各界各層による積極的な活動が必要

3 県外での活動について

- ・知恵泉（NHK）での放送や歴史漫画の発刊などが行われたが、全国的な知名度はまだ低い。
- ・東京都や高知県、熊本県等との連携イベントを実施したものの、東京中心の開催となっており、全国的な知名度や関心を高める取組みが必要
- ・小説、歴史漫画のテーマとして取り上げられるよう、歴史家、作家等へ働きかける必要

V 今後の誘致活動の方針

1 今後の活動の進め方

- ・大河ドラマの誘致は、地域の知名度向上や観光客増加等の経済波及効果に加え、県民が地元の歴史や先人達の生き方、考え方等に関心を持つことで、ふるさとに対する愛着と誇りを高め、また、歴史を活かしたまちづくりにつなげるものである。
- ・大河ドラマは要望のみで実現するものではない。NHKに対しては、史実の分析を進め、視聴者を引き付ける主人公候補等の人間性が伝わるエピソードを掘り起し、ドラマ制作に利用しやすい資料の提供を強化していく。
- ・また、こうした情報は、民放テレビや出版社等のマスメディア、作家や脚本家等にも提供し、番組や雑誌、小説等での取り上げを働きかけ、県内外での知名度や関心を高めていく。

2 実現を目指す大河ドラマ

戦国や幕末明治に活躍した先人が主人公となり、福井県の先人が数多く登場するドラマを目指す。

〔戦国〕 **朝倉義景、柴田勝家・お市の方など、動乱の世に輝いた人物**

(同時代に活躍した先人 (例))

朝倉宗滴、明智光秀、武田元光、金森長近、本多重次・成重、大谷吉継、京極高次、お初、丹羽長秀、結城秀康、松平忠直、多賀谷左近 等

〔幕末明治〕 **由利公正、橋本左内など、新しい時代を切り開いた人物**

(幕末明治期に活躍した先人 (例))

杉田玄白、間部詮勝、土井利忠、内山良休・隆佐、酒井忠義、梅田雲浜、松平春嶽、鈴木主税、中根雪江、横井小楠、村田氏寿、佐々木長淳、グリフィス、橘曙覧、石塚左玄、松旭齋天一、大和田莊七、岡倉天心 等

(考え方)

- ・大河ドラマは、近年、戦国と幕末明治の先人が、ほぼ隔年で主人公となっている。

- ・福井県には、戦国と幕末明治において、全国的に活躍した知名度の高い先人が多い。
- ・主人公候補を中心に、県内各地で活躍した先人を登場させ、ストーリーに幅を持たせることができる。
- ・戦国の天下人や明治維新の立役者とのつながりが強く、物語の広がりや奥行きが描ける。

3 誘致活動等

(1) NHKへの要望等

- ・主人公候補については、その時代背景も含め詳しい史実が必要であり、史料の収集や分析を進める。
- ・特に、視聴者が興味関心を引きやすい、波乱万丈の人生、喜怒哀楽、恋愛といった人間らしさが伝わるエピソードなどを掘り起こす。
- ・エピソードや史実を基に、ドラマ制作に利用しやすい資料として提供していく。
- ・県外の人物が大河ドラマの主人公となった場合においても、主人公と本県の先人との関係等の情報や資料を提供し、本県の先人が登場するよう働きかけていく。
(例：「西郷どん」における橋本左内)

(2) 県内外での活動

- ・これまでの活動に加え、民間企業・団体等による自主的な活動を推進し、全県的に活動の輪を広げる。
- ・主人公候補に関係する都府県と連携し、効果的な誘致活動を行う。
- ・各種団体等への出前講座の実施、様々なマスメディア等に取り上げてもらうなどし、主人公の知名度や関心を高めていくほか、大河ドラマ誘致HPやSNSでの発信を充実・強化する。
- ・誘致に協力する企業・団体等の取組みをHP等で紹介するなどし、民間の自主的な誘致活動を促進する。
- ・市町において、先人ゆかりの地の整備や語り部の育成を進め、歴旅やゆかりの地めぐりなどを促進する。

(3) その他

- ・大河ドラマに加え、時代劇、「歴史秘話ヒストリア（総合）」等の歴史番組で本県の先人を取り上げるよう働きかける。また、雑誌や小説、歴史漫画、民放ドラマについてもその実現を図っていく。
- ・明治以降の実在の人物をモデルとしたドラマ（朝の連続テレビ小説等）が放送されていることから、大河ドラマの誘致と併せて、こうした人物についても情報を提供し、ドラマの実現を働きかけていく。
- ・一部の市町や顕彰会等が行っている先人ごとの誘致活動についても、本県を舞台とした大河ドラマ実現の観点から促進していく。
- ・協議会のメンバーに、若者や女性、経済界の団体等の参加を求める。